


氏名・職名	芹澤 如比古 准教授	
キーワード	湖沼水質環境測定, 水中光環境測定, 水圏植物の水平・垂直分布調査, 光合成及び呼吸速度の測定	
ホームページ	http://nerdb-re.yamanashi.ac.jp/Profiles/330/0032939/profile.html	
所属学会	日本藻類学会, 水草研究会, 陸水学会甲信越支部会, International Phycological Society, Phycological Society of America	
受賞歴	1) 第26回日本藻類学会大会・日本藻類学会50周年記念行事・第3回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議(Algae2002)・優秀ポスター賞 2) 日本水産増殖学会第2回大会・最優秀ポスター賞	
研究者から一言	私は水圏植物の生理生態学的研究を行っています。水圏植物とは、陸水から汽水, そして海水までの広い水域に生育する水生植物や藻類のことで、海藻類や多細胞性の淡水藻類, 水草を研究対象としています。生態学が環境と生物の関わりを解析するのに対して, 生理生態学は環境条件に対する生物の生理学的特性を解明することによって環境と生物との関係を理解する学問です。最近では富士五湖のフジマリモを含めた水生植物の水平・垂直分布と湖水環境, 特に光環境との関係について現地調査を行うとともに, 優占種については光合成の室内実験を行っています。私の研究内容に少しでも興味があればお気軽にご相談ください。	

<研究テーマ>

- 1) 水圏植物(海藻, 淡水藻, 水草)の生理生態学的研究
 - 環境条件(温度・光量・光質・栄養塩)に対する植物の生理特性(生長・成熟・光合成および呼吸)を解明し, 環境と生物の関係を解析!!
- 2) 海藻類の植生遷移(移り変わり)の研究
 - 着生基質とその設置時期が遷移系列や遷移の進行速度に影響するのか, 極相(最終的に安定した状態)も異なるのか?
- 3) 水圏植物の種組成, 分布, 生産量の研究
 - 希少種や外来種の分布状況と保護対策や駆除対策の提言!
 - 海藻や水草の単位面積当たりの現存量, 生産量, CO₂固定量の推定と, 地球生態系に対する水圏植物の寄与度の分析!
- 4) 動物に特異的に着生する藻類の研究
 - 淡水エビやタニシなどの殻上でのみ確認される藻類の生物学的特性は? 親属新種?

- ・海底・湖底の湧水調査などに関する技術指導ができます。
- ・スキューバ潜水による植生調査ができます。
- ・湖沼や河川，海洋で水質調査ができます。
- ・水草や海藻の種の同定ができます。
- ・温度や光量，塩分などを変えて水圏植物の光合成及び呼吸速度の測定ができます。
- ・温度や光量・光質，塩分などを変えて水圏植物の培養・栽培実験ができます。
- ・地球温暖化(水温上昇)に対する海藻類の応答に関する研究をバックアップして下さる企業を探しています。
- ・山梨県内の水田域や湖沼・河川に生育する水圏植物の現状把握調査を行っているのでバックアップして下さる企業を探しています。

適用できる製品・分野のイメージ

環境調査機関／教育機関／水産試験機関 等

●水圏植物の同定方法に関する指導

対象生物の採取方法や分類群判定のプロセスなど

●顕微鏡の取り扱いに関する指導

検鏡資料作成方法や顕微鏡本体の使い方など

●海藻類の材料提供(海藻類は未知の抗菌活性物質などの生理活性物質を有している)

技術シーズについてのお問合せ、ご相談先

E-mail: renkei-as@yamanashi.ac.jp

Tel: 055-220-8758 Fax: 055-220-8757